

“ふじのくに”土民協働事業レビュー結果

(交通基盤部)

事業番号	8	事業名	公園・緑化推進事業費
------	---	-----	------------

1 基本情報

実施日/班名	9月7日 第2班	時間	14:35~15:30
担当課名	公園緑地課	事業費	60,000千円

2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	4
			一定の効果がある	19
			あまり効果がない	4

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

目的指標	
対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所の市町村にはばらつきがあるが、県はどのように関与しているのか、事業の中に見えてこない。 ・緑化率 50%を自ら定め、それを条件としている点が気になります。その制限は必要でしょうか？
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元が欲しがっている公園でありたい。個人的には車で行っても魅力のある大きい公園が欲しい。 ・町内の住宅一区画程度の空き地は草公園になっている。やはり雑草等管理を伴う公園であって欲しい ・遊ぶ子供の数はサイクルがある。大きくなると子供は使わない。設備も変化しなければ行けない。遊具から「憩いのベンチ」などへの変化。 ・木陰のない公園は行きたくない。木枯のふきすさぶ公園も行きたくない。孫たちが来て「連れて行ってくれ」という公園が欲しい。 ・小さい公園は近所の人草取りしきれず荒れている。適切な規模と魅力のある公園を望む。 ・満足度については、その地域に居住する年齢層によっても異なるものと思われるので、市町と連携を強化し施策の推進を図っていただきたい。維持管理についても支援を考慮すべきと思われる。 ・一覧表から見えてくる中で、数字の分析が必要と共に調査をして欲しい。 ・新規の公園では、緑地だけでなくスポーツに、健康に利用する、また、災害の避難地にも利用できるといいと思う。 ・公園の整備は進めて欲しい。整備率が上がらない所には何か理由があると思います。県、市町一体で計画的に取り組んで欲しいです。 ・地方の公園の利用率は低下し荒れてきている。維持管理が問題では。利用率を上げる手段が必要。

- ・緑化率だけでなく、利用度を増やすことも必要では。
- ・高齢者、障害者の公園利用促進及び安全管理も必要。
- ・管理を住民、ボランティア等にも協力をお願いする
- ・公園・緑化は、心にゆとりを与えるものであるので、予算を適切に使い、新しく作るだけでなく整備もお願いしたいと思います
- ・街中の公園は、浮浪者の多いのには公園でのんびり過ごしたい子供やお年寄りの恐怖になっております。防犯ビデオの設置や、警察官の定期的なパトロールも組み合わせをお願いしたい。各市町村の住民が安心して気楽に楽しく過ごせる公園造りを望みたいものです。
- ・公園内の美しいきれいなトイレ、手洗い場を維持していくために、公園のある町内の住民の美化運動推進も御指導されたい。防犯上、感心できない公園は数多いようです。
- ・公園の新設も大切ですが、既存の公園を安心して使用出来るように造り直すことも考えられたい。また、美しいデザイン性を持った木々の多い防犯性を持った公園は、地域の人々の心を潤すことでしょう。
- ・管理＝地元へ(公園、草刈、花壇など)は、高齢で負担のようです。
- ・“命山”(袋井市)など防災と一体化した公園整備事業となるよい。
- ・「計画的に」という目的であれば、県が主体的に推進する必要があり、補助金という手法が効果的とは思えません(単に公園整備を推進という目的であれば効果があると思います)。
- ・街区公園は街づくりに大変有意義です。災害時の避難場所、防災地子、シルバー人の健康促進に十分役立つと思います。
- ・維持管理は、地元ボランティアの方々の活動により出来るし、シルバー人の活力、健康寿命が向上する。
- ・今後の人口推移予想(少子高齢化)もふまえて公園の整備を考えては？少子高齢化が進めば、さらに維持管理費用の負担が大変なのでは？
- ・新たに作るばかりでなく、整備状況(手入れ等)も調査して欲しい。
- ・災害時に対応できる設備を持たせた公園、防災井戸やマンホールトイレなどを地域の人々が災害に一時的に使用できる公園造りをしたら良い。
- ・予算額の消化が少なく、県として宣伝も必要ではないか。
- ・市・町の公園・緑地課との連携。
- ・防災面でも街の中に公園が欲しいと思います。もっとお金を使ってください。
- ・生物が公園の中にあると人が集まり、明るい街造りにつながります(高齢者の運動のためにも)。
- ・観光と公園では、生活に近い公園をもう少し整備して欲しい。
- ・緑化推進により景観は良くなるが、反面、鳥類等が住みつき近隣住民が迷惑している状況も発生している。これらの対策はどのように考えるか。市町に一任するのか 県が推進する事業であればこれらの点も含めて市町へ助言願いたい。
- ・静岡県の公園は防災との兼ね合いが強い。海の近くの公園は利用率が下がっている。防災と一体となった公園の整備が望まれる。
- ・維持管理の面で遊具が劣化しているので考慮して欲しい。
- ・地元の満足度はそこに居住する人の年齢層等が影響するため比較は難しい。市町と連携して推進して欲しい。今の方向で進めれば良いと思う。

(2)その他の意見

- ・緑と潤いの快適空間は必要。
- ・子供たちの遊び場が少ない現状で、公園整備が推進されることは大変うれしく思う。
- ・木の管理費、整備が大きいのでは。
- ・この補助金額で緑豊かな優れた都市環境の形成を促進しないと思う。

- ・公園整備、緑化推進は、環境・景観・人にとって非常に大切な事業である。ただし、作った以上は維持管理が必要であるが、この費用が思った以上にかかるため、市町ではなかなか積極的に取り組めない状況となっている。この点を県はどのように考えているのか。
- ・整備する意向ありも、財政上の理由、維持管理において推進できないのは地域によって理由は違うかもしれないが、もっと違う方法で推進できないのか。
- ・県と市町の管理の区別がわからなかったが今日でわかった。